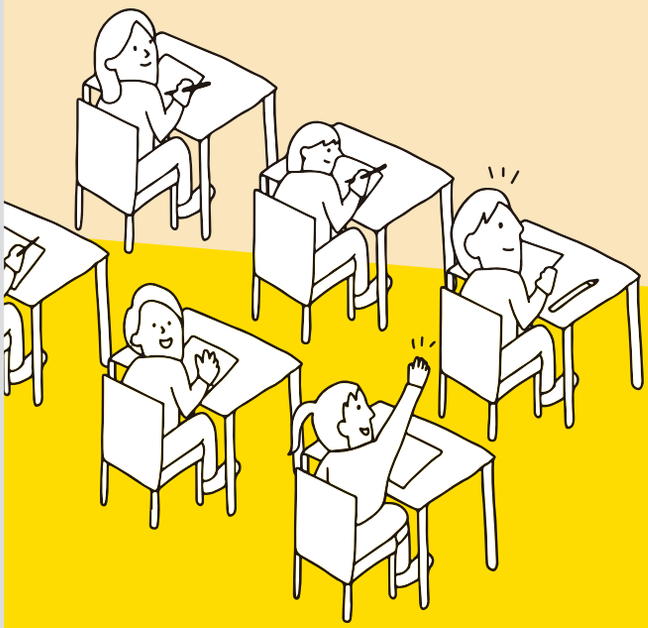
知的障害者を対象とした生涯学習

「新しい学び」

― オンデマンドラーニングを活用した「学び」の形 ―



Pre- 動画

授業の内容の説明
事前の知識、課題意識
などを共有

授業（対面）

リフレクション（動画）

授業の解説、学び

● 開発した教材例

【セルフケア -】

- 明日を元気に過ごすために -

・身体に疲れを感じたときに
・イライラするときは?
・ぼーっとするときは?

【SDGs】

- 水資源 -

・地球上に飲める水は
　どのくらいあるのだろう?
・水問題

【防災教育】

- 水災害 -

・大雨について考えよう
・水災害―取材からの学び―
・避難所の生活

【英語を学ぼう】

・自己紹介
・買い物
・海外旅行に行こう!

● 実績例

・第1回大学で学ぼう　SGDs について学ぼう
・第2回大学で学ぼう　SGDs―水資源―
・第3回大学で学ぼう　防災教育

・日軽金オーリス株式会社での研修　SGDs―水資源―
・しずぎんハートフル株式会社での研修　SGDs―水資源―
・静岡市内特別支援学級　「防災教育」―水災害―

お問い合わせ

事務局　瀬戸脇正勝
TEL 090-2775-6348 FAX 054-209-2888
静岡大学教育学部 山元薫
TEL 054-238-4246
yamamoto.kaoru@shizuoka.ac.jp

期待される生涯学習

教育の機関から

特別支援学校においては、卒業後の社会参加、社会自立に向けて、自立して社会生活を営む力「生きる力」の育成を目指しています。学校の中での学習だけでなく、地域を教育資源として活用しながら経験を広げ、学びを深めていくことにも取り組んでいます。学校での学びは子供たちの知識や技能を高めるだけでなく、興味・関心を広げ、新たな学びへの意欲を高めることにもつながっていきます。自立した生活には、心の豊かさが欠かすことができません。毎日の生活に楽しみを持ち、新たな学びを積み重ねることで成長することが豊かな生活には必要です。学校卒業後も学び続けられることは、その人の人生をより豊かなものにしていきます。学校から社会へ途切れることなく学びを続けられる生涯学習のための環境整備を進めていくことは幸せの土台作りと言えると思います。

静岡県立中央特別支援学校長　　伊賀　匡

保護者の団体から

知的障がいのある人は、生まれつきの障がいゆえに、就職、昇格、昇進、結婚、出産、子育て、子の教育参加、親の介護といった大人としての標準的な生活体験の多くの経験を持ちません。しかし、人生において印象に残った体験は忘れず積み上げていくという特性もあります。知的障がいのある人にとって長い人生において、体験の積み重ねは、まさに生涯学習と言えるのではないでしょうか。

静岡県手をつなぐ育成会　小出 隆司

障害者施設から

重い障害をもった方々は、日々の生活の中で一年を通してさまざまな活動が提供されます。もちろん、そういったものは生きていく上で、なくてはならない大切なものです。ただその活動はというと、つい遊びが中心の内容が幼いものになりがちです。しかし、重い障害を持っているからといって、学ぶことをないがしろにしてはいけません。学びの場というのは、実はとても楽しく人生を豊かにするものです。そのために、ときにはプロによる生の音楽であったり、美術作品の鑑賞であったり、本物に触れる機会をもってほしいと思います。

社会福祉法人 小羊学園重症心身障害児・者施設 施設長　山倉 慎二

企業から

障害のある方の就労する企業から当社、日軽金オーリス㈱では障がいのある社員 27 名が働いていますが、継続して働くためには、安定した生活が欠かせないことを実感しています。そのためには、すべての社員は、就職してからも多くのことを学ぶ必要があると考えています。

障がいの種類や内容、特徴など、一人ひとり違いがあるため、生活に必要な知識や技能は様々ですが、企業運営の基本は「人づくり」ですので、共通して大切なことについては、企業として社員に対する学習の機会を提供する責任があります。当事者としても、職業人として生きるためには、自立、成長のために継続した学びの姿勢、意識は重要です。学びの機会を継続して経験することで、多くの人と関わり、刺激を受けることになるため、コミュニケーショントレーニング、仲間づくりなど、社会性を高めるチャンスにもなります。

このように、学習の機会提供は企業として重要課題ですが、障がいのある方々に対する、生涯学習コンテンツを得ることは非常に困難です。今後は、様々なコンテンツを容易に活用できる環境整備を望んでいます。そのために企業はコンテンツ開発に前向きに参加できますので、ぜひ活用してください。

日本軽金属株式会社 人事部 日軽金オーリス株式会社 事業部　大島 章嗣